

小学生の中学校舎での定期的な活動

1 小中連携教室の整備計画

豊玉第二中学校および開進第四中学校の校舎改築に伴い、小学生が中学校舎で一日生活できるような教室（小中連携教室）の整備を行う。

整備予定および教室数

豊玉第二中学校	平成 27 年 1 月	4 教室
開進第四中学校	平成 28 年 4 月（予定）	4 教室

2 小中連携教室の目的

施設が離れている小中学校間において、移動時間の影響を軽減して下記の機会を確保するため、小学生が中学校舎で一日過ごすことのできる設備を整備する（給食を含む）。小学生が来校しない日・時間帯は、中学校で有効活用する。

小学生が中学校生活を一定程度体験できる機会の確保

小学生と中学生が一定程度生活を共にできる機会の確保

小学校 2 校の小学生同士が交流できる機会の確保

3 小中連携教室の活用方法（例）

- ・小学生が中学校校舎で一日過ごす
- ・小学生が小学校教員と中学校教員の T T による授業を受ける
- ・小学生と中学生による交流事業を行う（交流給食など）
- ・小学生と中学生による合同授業（道徳や学級活動など）を行う
- ・2校の小学生による交流事業や合同授業を行う

4 他自治体における施設併用の事例

杉並区 高円寺中学校・杉並第四小学校

毎週 1 回、杉並第四小学校 5・6 年生が高円寺中学校に登校し、中学校舎で一日生活し、授業を受ける。

京都市 御池中学校・御所南小学校・高倉小学校

御所南小学校・高倉小学校の 6 年生が通年、御池中学校で生活している。